



# 「財政健全化のための健康経営プロジェクト」 ～日本の未来を担う子供たちのために～

なぜ青年部会が健康経営に取り組むのか

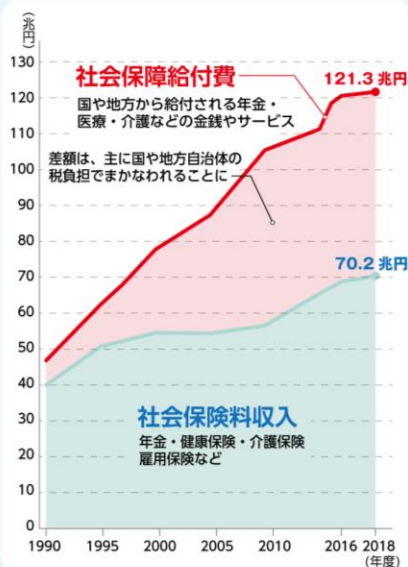
＜部内向け 概要版＞

(公財)全国法人会総連合 青年部会連絡協議会

# なぜ、青年部会が「財政健全化のための健康経営プロジェクト」に取り組むのか（イメージ図）

## 現状

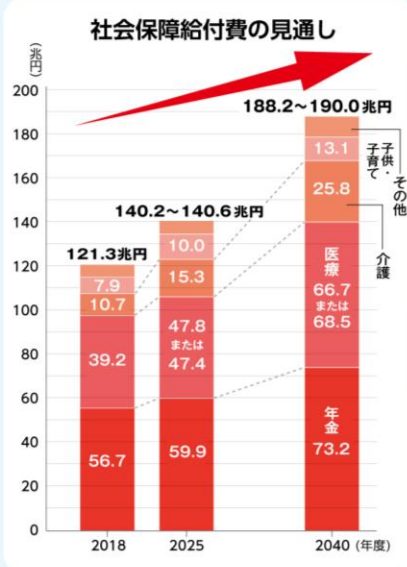
社会保障給付費への公費(税)の投入は  
年々増え続けている  
(社会保障給付費＝国民の保険料＋税金)



(出所) 国立社会保障・人口問題研究所および2018年度は厚生労働省より作成

## 将来

社会保障給付費は2040年には**190兆円**に達すると推計されている、なかでも医療費等(医療費と介護費)給付費の伸びが大きい。



## 問題意識

しわ寄せは  
子供たちに・・・

『**財政的児童虐待**』  
の回避



子供たちの世代を救うために  
我々が主体的に  
取り組めることは  
ないだろうか？

## 課題解決

### 1 「健康経営」の推進

- ①個人の健康づくり
- ②職場の環境改善
- ③職場のメンタルヘルスケア

健康寿命の延伸

企業メリット  
「健康経営」

- いきいきと働くことによる生産性向上
- 高齢者の活用による労働力確保
- 自立した社員の育成と企業イメージ向上

企業の活力向上

税収の増加

### 2 「効率的な医療利用」の浸透

- ①薬代の節約 (ジェネリック医薬品の使用)
- ②賢い検査の選択
- ③医療機関の適切な受診 など

医療費の適正化

社会保障給付費の削減

## GOAL

日本の未来を担う 子供たちのために  
**財政健全化に貢献**

## 共感

租税教育活動で私たちが子供たちに伝えなければならないことは

税の本質が、誰かを大切に想う気持ち、すなわち「**思いやりの心**」であるということ

全国青年の集い高知大会で福岡局連・直方法人会の「税に込められた想いを伝える租税教育活動」が最優秀賞を受賞

- 法人会青年部会は、「税知識の普及、納税意識の高揚」という法人会の目的に寄与するため、日本の未来を担う子供たちに税の仕組みや大切さを理解してもらい、国や地域社会に愛着を持ってもらうため「租税教育活動」を活動の柱に据えている。



- 2008年度から組織的な活動を始め、2016年度に全国440全単位会での完全実施を達成。



- 2019年度はコロナ禍の中433単位会での実施。年間受講生徒数は、476,847人。

- 租税教育活動を通じ、税の大切さを教える中で、税の使途についても、我々が**主体的**に果たすべき役割があるとの問題意識を持った。



- 2015～2017年度の醍醐会長の時代には、税の使途として大きな割合を占める 社会保障制度を中心に議論をすすめ、研究成果をレポート(※)にまとめた。

(※日本の未来を担う子供たちに光を当てる社会保障制度の構築を求めて－青年経営者が考えた、持続可能な社会保障の仕組み－)



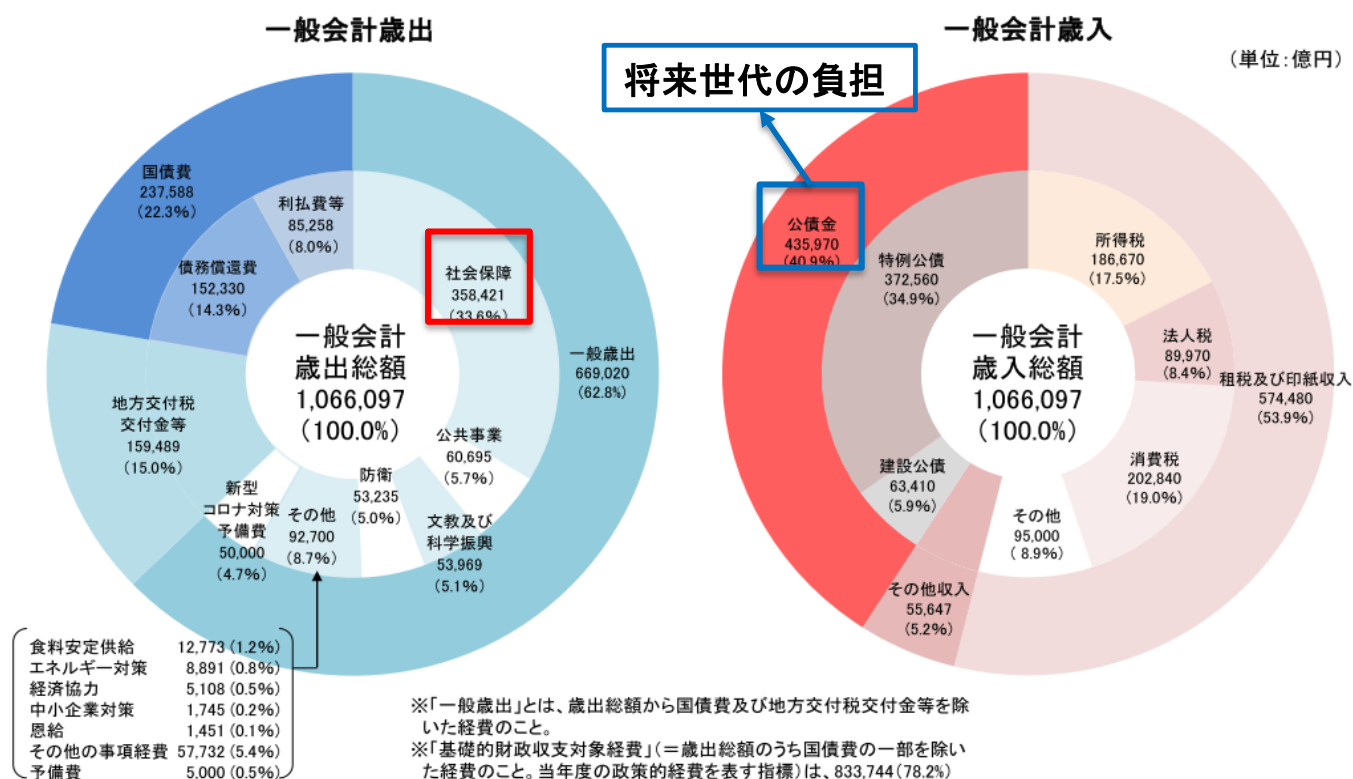
- 2018～2019年度の中村会長の時代には一歩踏み込み、実際に我々が**主体的**に行動できることは何かを求めて、プロジェクトを立ち上げ、社会保障制度の破たんを回避し、国の財政健全化に貢献する手段として「健康経営(※)」について考察することとした。

(※)「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標である。

## Ⅱ-1 現状認識、危機感

- 国の財政の現状を見ると、歳出が税収を大きく上回る状況が続いており、毎年多額の借金をしてまかなっている。（出典：財務省HP）

（参考）令和3年度一般会計歳出・歳入の構成



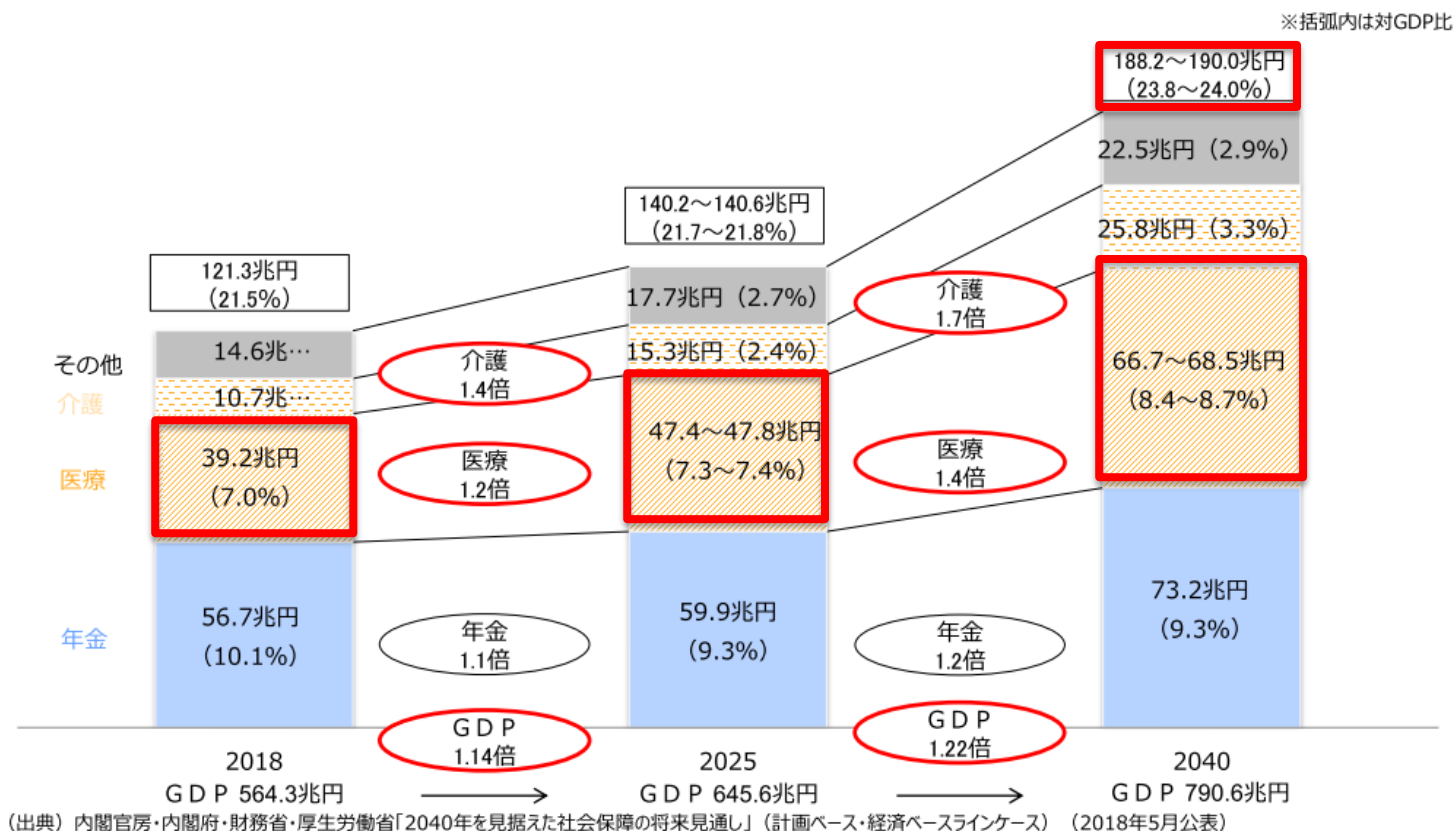
(注1) 計数については、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは合致しないものがある。  
 (注2) 一般歳出における社会保障関係費の割合は53.6%。

## Ⅱ-2 現状認識、危機感

- このままでは子供たちの世代に過大な負担を強いることになるのではないか。

### 将来の社会保障給付の見通し②

- 75歳以上になると他の世代に比べ、1人当たり医療費や要支援・要介護認定率は大幅に上昇。  
2025年、2040年にかけて、医療・介護費用は大きく増加していくことになる。この期間、20～64歳の現役世代が大幅に減少することにも留意が必要。

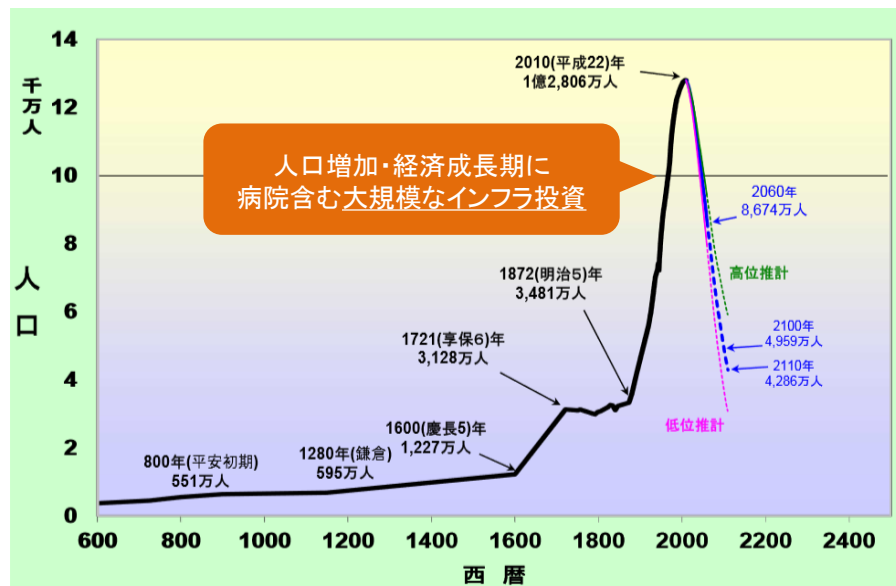




## Ⅱ-3 現状認識、危機感

日本の総人口は2010年をピークに減少に転じた。医療費等給付費の増大が国の財政を圧迫している。

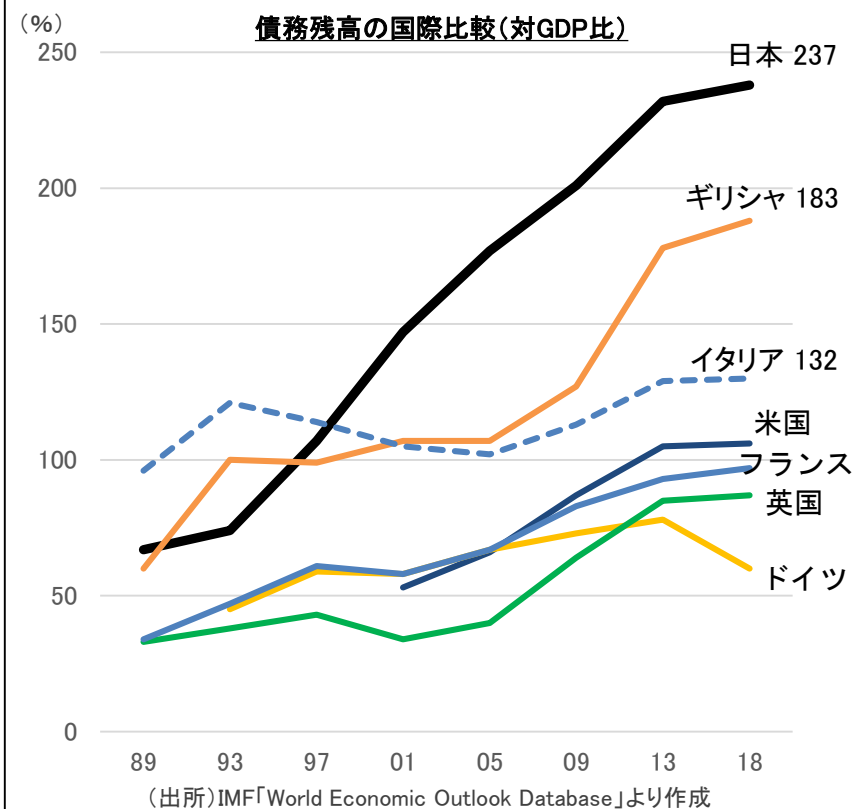
### 人口減少と医療給付費の増加



資料: 国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集」(1846年までは鬼頭宏「人口から読む日本の歴史」、1847～1870年は森田優三「人口増加の分析」、1872～1919年は内閣統計局「明治五年以降我が国の人口」、1920～2010年総務省統計局「国勢調査」推計人口)、2011～2110年国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(平成24年1月推計[死亡中位推計])。

- 我が国の社会保障・保健医療制度は、人口減少期に入った今、再構築の必要がある。
- 2018年の医療費等給付費は50兆円にせまる。  
医療給付費 (39.2兆円) + 介護給付費 (10.7兆円) = 約50兆円  
※社会保障費全体では121.3兆円
- 2040年の医療費等給付費の推計は92兆円を超える。  
医療給付費 (66.7兆円) + 介護給付費 (25.8兆円) = 約92兆円  
※社会保障給付費全体で190兆円

### 「赤字国債」の残高と財政破綻、そして「財政的児童虐待」



- 膨張する医療費の財源の補てんには赤字国債（将来世代の負担）の発行が充てられており、我が国の債務残高のGDP比は237%と世界最悪の水準である。
- 次世代に負担を強いることで現在の財政を維持する体質は「**財政的児童虐待**」と呼ばれ、我々大人はその「加害者」ともいえる。

# 「健康経営」に着目！

●一般的な健康経営のイメージは・・・

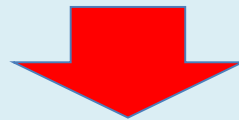
- ・従業員の健康維持・増進
- ・企業ブランドイメージの向上
- ・帰属意識の向上
- ・採用の優位性確保



## 自社の価値向上



- 「健康経営」に取り組むことで自身や従業員の健康寿命が延伸し、将来的に医療費等を抑制することが出来るのではないか？



- これまでの医療経済学の研究によれば、医療費等の抑制につながるという**十分な科学的根拠が示せない(先送りに過ぎない)**ことが判明。



- 財政健全化に立ち返り、税収増と歳出減の観点から2つの目標を掲げ、「法人会版健康経営」を確立

# IV-1 2040年に向けての目標

国の財政健全化に貢献するため、我々が主体的に取り組むことのできる2つの目標を設定した

## 【法人会版健康経営とは！】

### 財政健全化のための 健康経営プロジェクト

～日本の未来を担う子供たちのために～

#### 目標1：企業の活力向上について

「法人会青年部会は、2040年に向けて、社会保障制度の破たん回避と安定的な国の歳入確保に寄与するため、今後、法人会ならではの健康経営の推進と普及に取り組み、会員企業をはじめ日本全国の企業と共に生産性向上と収益力強化を実現し、税収（法人税と所得税）の増加に貢献する」

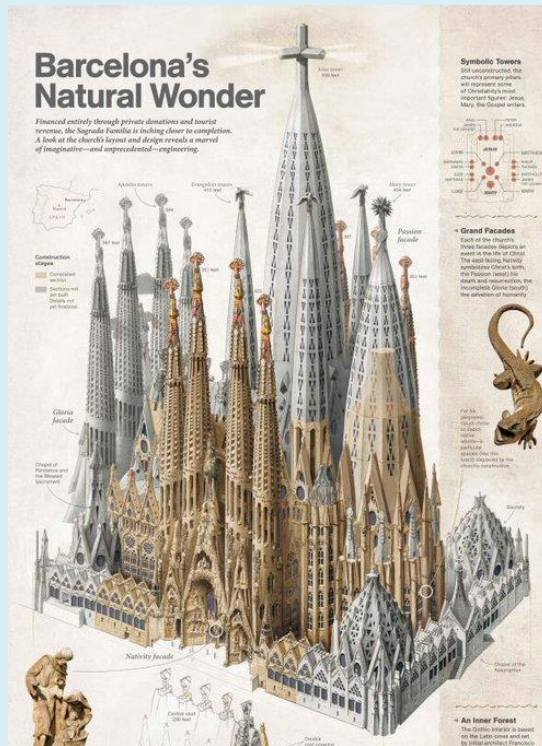
税収増

#### 目標2：医療費の適正化について

「法人会青年部会は、2040年の社会保障給付費の推計190兆円を抑制するため、今後、適切な医療との関わり方について学び実践するとともに、会員企業をはじめ広く世の中に周知することで医療費の適正化に貢献する」

歳出減

### なぜ2040年なのか



(出所) National Geographic

1. 短期間で結果が出るものでなく、**長期にわたり継続**して取り組むべきものであるから
2. 社会保障給付費が**190兆円**にのぼるとの推計が示されたから
3. 現在の青年部会の中心世代が**高齢者世代**になるから
4. **高齢化のピーク**が2042年に到来するから



目標を達成するための**アクションプラン**を検討し、提示した

# ● 3つのアクションプラン

## ● アクションプラン1

効果を数値化可能な項目については具体例を示し、効果の推計を行った。

## ● アクションプラン2

効果を数値化できないものも含め、青年部会として実施したいと考えている方策をまとめ、一部実施を開始している。

## ● アクションプラン3

さらに、実施主体ごとにすぐにでも取り組める事例を取りまとめ、提示した。

合言葉は「できることから始めよう！」

「取り組んでいることを当てはめてみよう！」

●本プロジェクトの浸透と定着に向けた  
具体的な取り組み（アクション）

- ①「健康経営宣言書」の提出
- ②「ジェネリック医薬品」の  
利用促進
- ③「健康経営大賞」の構築と  
周知

## ①「健康経営宣言書」の提出

### <企業用>

|                                                             |                                                                                                                                                                                                  |
|-------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 全法連事務局 御中<br>(mail@zenkokuhojinkai.or.jp)                   |                                                                                                                                                                                                  |
| 1. 法人会版健康経営宣言書「企業」用<br>yyyy/mm/dd                           |                                                                                                                                                                                                  |
| 所属県連名/所属単体会名                                                |                                                                                                                                                                                                  |
| 企業<br>情報                                                    | 会社名                                                                                                                                                                                              |
|                                                             | 代表者名<br>(←代表者(部会員)名から変更)                                                                                                                                                                         |
|                                                             | 会社所在地<br>〒                                                                                                                                                                                       |
|                                                             | TEL FAX                                                                                                                                                                                          |
|                                                             | 業種 社員数                                                                                                                                                                                           |
|                                                             | 会員名(*)                                                                                                                                                                                           |
|                                                             | 会員メールアドレス<br>(←メールアドレスから変更)                                                                                                                                                                      |
| (*) 会員名の欄は、代表者名と同じ場合は記入不要。                                  |                                                                                                                                                                                                  |
| 健康づくりの取組目標・取組内容                                             |                                                                                                                                                                                                  |
| 健康経営宣言<br>(目標)                                              | ・<br>・<br>・                                                                                                                                                                                      |
| 予定している活動の<br>カテゴリーを<br>選定してください。<br><br>1つ以上に○を<br>つけてください。 | 1 フィジカル(身体的)部門…運動や身体的な改善内容等                                                                                                                                                                      |
|                                                             | 2 メンタル(精神的)部門…社員のメンタルヘルス対策や職場環境改善等                                                                                                                                                               |
|                                                             | 3 ソーシャル(社会的)部門…地域貢献活動やボランティア活動等                                                                                                                                                                  |
| (下記1・2 のそれぞれ該当する項目にチェックを1つ入れてください。)                         |                                                                                                                                                                                                  |
| 1                                                           | <input type="checkbox"/> 全法連ホームページ及び内部資料に所属・社名を掲載することを承諾します。<br><input type="checkbox"/> 内部資料に所属・社名を掲載することを承諾します。(←項目を追加)<br><input type="checkbox"/> 全法連ホームページ及び内部資料のどちらも掲載することを承諾しません。(←項目を追加) |
| 2                                                           | <input type="checkbox"/> 裏面の確認事項に同意し、事務局によるアンケート調査システムへの代理登録を承諾します。<br><input type="checkbox"/> アンケート調査システムは登録済みです。…裏面記入不要<br><input type="checkbox"/> アンケート調査システムへの登録は行ないません。(←項目を追加)           |
| 上記のとおり申し込みます。                                               |                                                                                                                                                                                                  |

### <青年部会用>

|                                                             |                                    |
|-------------------------------------------------------------|------------------------------------|
| 全法連事務局 御中<br>(mail@zenkokuhojinkai.or.jp)                   |                                    |
| 2. 法人会版健康経営宣言書「青年部会」用<br>yyyy/mm/dd                         |                                    |
| 単体会名(所属県連名)                                                 |                                    |
| 部会長 氏名                                                      |                                    |
| 部会長 携帯番号                                                    |                                    |
| 部会長 メールアドレス                                                 |                                    |
| 単<br>体<br>会<br>信<br>息                                       | 事務局所在地<br>〒                        |
|                                                             | 担当者(事務局員)名                         |
|                                                             | TEL FAX                            |
|                                                             | メールアドレス                            |
|                                                             | 部会員数<br>0 名                        |
| 健康づくりの取組目標・取組内容                                             |                                    |
| 健康経営宣言<br>(目標)                                              | ・<br>・<br>・                        |
| 予定している活動の<br>カテゴリーを<br>選定してください。<br><br>1つ以上に○を<br>つけてください。 | 1 フィジカル(身体的)部門…運動や身体的な改善内容等        |
|                                                             | 2 メンタル(精神的)部門…社員のメンタルヘルス対策や職場環境改善等 |
|                                                             | 3 ソーシャル(社会的)部門…地域貢献活動やボランティア活動等    |
| (下記の該当項目にチェックを入れてください。)                                     |                                    |
| <input type="checkbox"/> 全法連ホームページ及び内部資料に単体会名を掲載することを承諾します。 |                                    |
| 上記のとおり申し込みます。<br>yyyy/mm/dd<br>単体会名:<br>(押印は不要です。) 部会長名:    |                                    |

# ①「健康経営宣言書」の提出(メールにて)

提出件数目標

1万件



「財政健全化のための健康経営プロジェクト」

わかりやすい!!

法人会版  
「健康経営宣言書」  
の書き方

法人会から日本  
を変える!



「財政健全化のための健康経営プロジェクト」

親会・地域社会も巻き込む  
ムーブメントにしよう!

法人会版「健康経営宣言書」

提出10,000件を  
目指しています!

合言葉は

- ・できることから始めよう!
- ・今取り組んでいることを  
当てはめてみよう!

コロナ禍の今、皆さんの企業・青年  
部会で健康経営に関連して取り組ん  
で(これから取り組もうとしている  
ことをお気軽に宣言してください  
(記入や提出の方法をまとめた「わかりやすい  
法人会版健康経営宣言書の書き方」もご用意  
しましたので、合わせてご覧ください)

法人会から  
日本を  
変える!



※令和3年2月26日文書発信済



## ②ジェネリック医薬品の利用促進

**日本の未来を担う子供たちのために  
財政健全化に貢献!**

医療費等給付費の増大が国の財政を圧迫

しわ寄せは子供たちに...

子供たちの世代を救うために我々大人が  
主体的に取り組めることはないだろうか?

**ジェネリックで  
お願いします**

※直接医師に「ジェネリックを使いたい」と伝えてください。

**ジェネリック医薬品とは?**  
新薬(先発医薬品)と同じ有効成分で、効き目・品質・安全性  
が同等なお薬で、開発費用が抑えられるため低価格です。  
ジェネリックの使用率は約7割(2018年)これが100%に  
なると年間1.2兆円の医療費が削減できます!

**シールを貼ろう!!!**  
上のラベルを剪り、保険証に貼付してください。

健康保険 本人(被保険者) 平成00年 0月 0日交 0101  
被保険者証 証号 01010101 番号 010  
姓 名 太郎 性別 男  
生年月日 00年 0月 0日  
保険者番号 010101010101  
保険者名称 全国健康保険協会 〇〇支部  
印

法人会 (公財) 全国法人会総連合 青年部会連絡協議会

●ジェネリック医薬品  
を意識して利用

●シールを配付し、家族・  
従業員・地域社会にも  
促す

医療費適正化に貢献

### ③「健康経営大賞」の構築と周知

佐賀大会においてプレ開催 ➡ 以降毎年開催



租税教育活動プレゼンテーション同様に、好事例を共有し、プロジェクトの普及と定着を図る



## 理 念

法人会は税のオピニオンリーダーとして  
企業の発展を支援し  
地域の振興に寄与し  
国と社会の繁栄に貢献する  
経営者の団体

日本の未来を担う子供たちのために



主体的、積極的にアクションを起こす  
ことで、国の財政健全化に貢献する

そして・・・



**「法人会から日本を変える！」**